

「指導と評価の一体化」および
「ICTを活用した個別最適な学び」の研究実践について

芸術（美術）

延岡星雲高等学校 河野 墨



美しい風景に出会ったとき、
みなさんはどのようなことを考えますか？

自分が感動した”物事”や”体験”を的確に表現するには、どのように工夫すればよいのだろうか。

概要

題材名	実物よりリアルな風景画 ～色彩に宿る私のリアリティ～
芸術科	美術 I
内容のまとめ	「A表現」(1) 絵画・彫刻及び「B鑑賞」ア美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞
概要	美術作品の鑑賞を通して作家や美術表現について理解を深め、感じたことや考えたことなどから主題を生成し、構想を練る。自分にとっての「リアリティ」とは何かを考え、工夫し創造的に表す。お互いの作品を鑑賞し合うことで造形的な良さや美しさを感じ取り、自己と他者の相違点や共通点に気づき、見方や感じ方を深める。

作者の意図や思いに触れて考えを深め、表現することで、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育むことができるのではないか。

本題材における「リアリティ」

ただ見たものをそのまま写しとる（描く）のではなく、
表現を工夫して作者の意図を反映させること。

例) 印象派画家の点描画について

作品を鑑賞する

↓

”点描”のように絵具を置いていることがわかる

(リアリティ)

↓

しかし現実の人物の顔は”点描”のようにはなっていない

(リアル)

↓

印象派画家はどうしてこのような表現方法にしたのか？

絵の具は混ぜるほどに色が暗くなってしまう。

実際の風景は太陽の光で明るく輝いている。

絵具をパレット上で混ぜずに、

人間の目の中で混ぜれば良いのではないか？



”点描”という表現技法を用いた方が、より現実の見え方・感じ方に近くなる

”点描”という表現技法を用いた方が、より現実の見え方・感じ方に近くなる



そこに作家の工夫や意図（リアリティ）がこめられている

○参考作品を鑑賞して、作家や美術表現について理解を深める

⇒作家は自分の意図を作品に反映させるために色彩を実物よりも鮮やかにしている、という点に気づかせる。

○感じたことや考えたことなどから主題を生成し、構想を練る

⇒自分が風景を見たときに感じた感動や印象(主題)を表現するために、絵の具や用具の使い方をどのようにすればよいのか考えさせる。

例) 鮮やかさ、楽しい印象を表現したい→ 鮮やかさを上げて着彩する。

暗い印象を表現したい→ 鮮やかさや明るさを下げて着彩する。

単元計画

	時数	学習内容	学習活動
鑑賞	1	参考作品の鑑賞	・作家が作品に込めた意図や、表現方法の工夫などについて理解する。
表現	2	「リアル」、「リアリティ」の違いについての解説	・ワークシートを使いながら「リアリティ」について思考し、理解する。
	6	風景画の制作	・自分なりの「リアリティ」を盛り込んだ作品を制作する。
鑑賞	1	作品鑑賞、振り返り	・「リアルな風景画」、「リアリティのある風景画」、二種類の風景画について比較鑑賞する。本題材を振り返り、気づいたことや考えたことを学習ノートに記入する。
		合計 10時間	

参考作品鑑賞

「リアリティ」について理解する

作品にしたい風景写真を用意する

自分の作品にどのような意図を反映させるか計画を立てる

相互作品鑑賞①（Jamboard上）
お互いに気付いたことを付箋に書いて貼り付ける

相互作品鑑賞②（スケッチブックに描かれたものを鑑賞）
2種類の風景画を比較鑑賞する

毎時間「評価シート」に
振り返りを記入する

「ICTを活用した個別最適な学び」について

本題材で使用したICT

○Google Classroom

- ・ ネットワーク上での課題等データの配布、回収

○Google Jamboard

- ・ 参考作品鑑賞時の感想アウトプット
- ・ 生徒の作品相互鑑賞、コメント貼り付け

○Google Drive

- ・ アプリで編集した画像データの配布

参考作品鑑賞時の感想アウトプット

Jamboard

付箋を貼っていきましょう！

ポジティブな感想：赤色
ネガティブな感想：青色
どちらでもない感想：黄色

A Jamboard grid with various adjectives and phrases in colored sticky notes. The grid is as follows:

	恐ろしい	百鬼夜行みたい		不思議		
複雑		怖い		苦しそう	怖そう	みんな同じ表情
	怖い	全員苦しんでいるように見える		暗い		怖い
		おもしろい	目が怖い		光と影が描かれている	

作品の画像を提示し、ほとんど知識のない状態で、正直な感想を付箋に書いて貼り付けさせる。

その場にいる生徒たちの率直な気持ちを可視化することができた。

Jamboard

生徒の作品相互鑑賞、コメント貼り付け

The screenshot displays a Jamboard interface with a central artwork of a landscape. The artwork is annotated with several sticky notes:

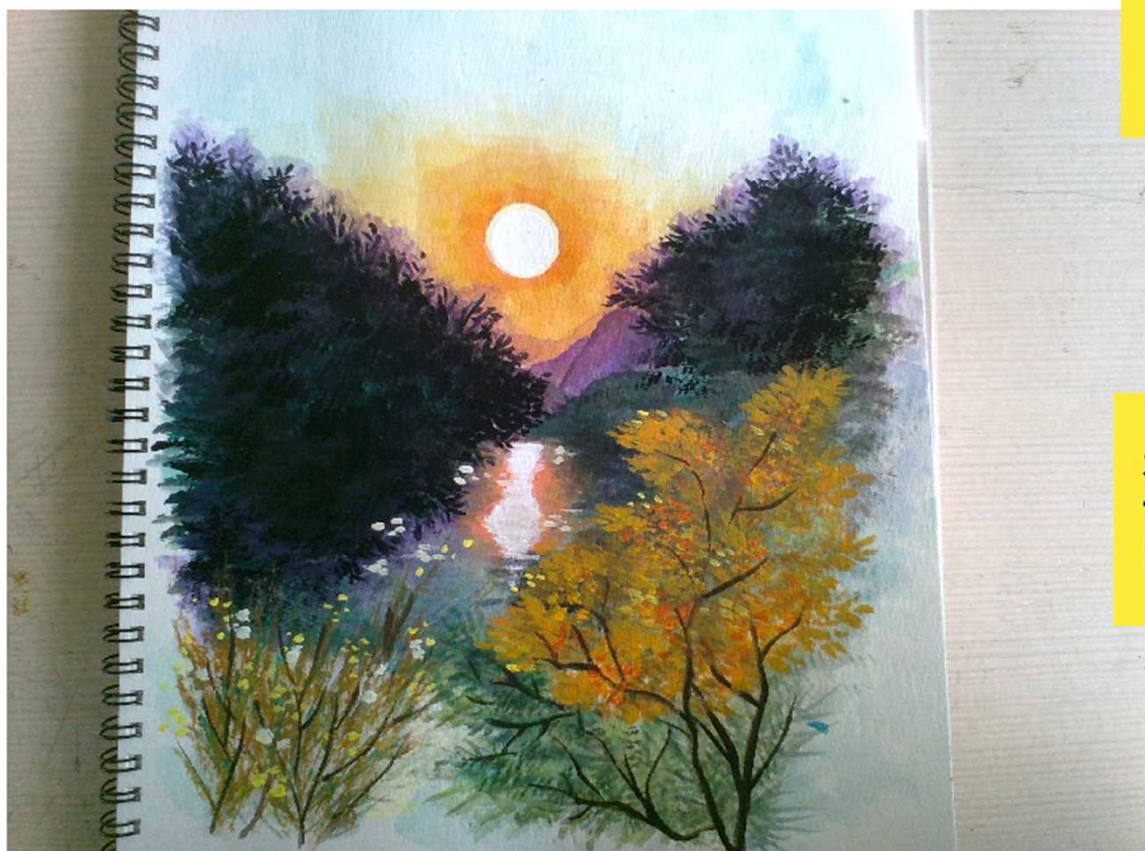
- A yellow note at the top left: "○○の形が実物と違う" (The shape of ○○ is different from the real thing).
- A green note at the top center: "落ち着いた感じ" (A calm feeling).
- A green note at the top right: "ゆらゆら" (Wavy).
- A large yellow note on the left: "部分" (Part).
- A large green note on the right: "全体の雰囲気" (Overall atmosphere).
- A yellow note at the bottom center: "実物にない色が使われている" (Colors used that are not in the real thing).

A blue text box at the bottom right contains the following text:

「全体」、「部分」の2つの視点で作品を鑑賞させ、気づいたことを色分けして付箋で共有した。
短時間で簡単にお互いの意見を共有し、自分の作品に対してどのような意見があったか、いつでも振り返ることができる。

Jamboard

生徒の作品相互鑑賞、コメント貼り付け



ひとつひとつの
表現が丁寧で上
手ですこすぎる

落ち着
いている
ている

奥行き
を感じ
られる

画家みたい
な絵ですべ
てがリアル

色の使い方がう
まくて紫を使っ
ているのが本当
にすごい

木のフサフ
サしてる感
じがわかる

太陽が白で
描かれてい
てすごい

太陽の反射
と周りの木
が上手い

すごくリア
ルで上手い

生徒の作品相互鑑賞、コメント貼り付け

【 リアルな風景画 】

(意図が反映されていない)

写真を基にアプリで作成したもの



【 リアリティのある風景画 】

(意図が反映されている)

生徒が制作したもの



「指導と評価の一体化」について

○評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知識 色や形の性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>技能 意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p>	<p>発想 自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>鑑賞 造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態度 主体的に自己を見つめ感じ取ったことや考えたことを基に、表現活動に取り組もうとしている。</p>

評価について（ルーブリック）

		A	B	C
知識・技能	内容理解	作品鑑賞を通して、作家の意図や表現方法の工夫について深く理解している。	作品鑑賞を通して、作家の意図や表現方法の工夫について理解している。	作家の意図や表現方法の工夫について理解していない。
	技能	画材や用具を自分の意図に応じて的確に用いることができる。	画材や用具を自分の意図に応じて用いることができる。	画材や用具を自分の意図に応じて用いることができない。
思考・判断・表現	主題の生成	自分の感じたことや考えたことを基に自分の表現する主題を設定することができる、理由について明確に述べるができる。	自分の感じたことや考えたことを基に自分の表現する主題を設定することができる。	自分の感じたことや考えたことを基に自分の表現する主題を設定できない。
	作品鑑賞	造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え考え、表現することができる。	造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え、表現することができる。	造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え、表現することができない。
主体的に学習に向かう態度	評価シート	学習に対して粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。	学習に対して粘り強く取り組んでいるが、自らの学習を調整しようとしていない。	学習に対して粘り強く取り組んでいない。

○「学びに向かう力・人間性等」を測る評価シート

振り返りシート		年 組 氏名		
単元名	単元課題：			
学習日	わかったこと	疑問に思ったこと	理解度 5 段階	
			A B C D E	
			A B C D E	
			A B C D E	
単元の振り返り				
学習を振り返って				
<input type="checkbox"/>	気付きを得ることができたか		A B C D E	
<input type="checkbox"/>	自分なりの疑問を持って学習できたか		A B C D E	
<input type="checkbox"/>	班活動の中で役割を果たすことができたか		A B C D E	

生徒は毎時間、感等を記入し理解度を自己評価する。
教師はこの内容を見ながら、指導方法を改善していく。

反省と課題

研究を進めていく中で感じた難しさがあります。それは、生徒が迷うことなく課題に取り組める環境を作ることです。今回の題材では、生徒にとってわかりにくい部分がいくつかあり、こちらの意図を伝えることに苦勞する場面がありました。芸術科だからこそ、伝え方にはより一層配慮した指導が必要だと感じました。

また、学習指導要領の内容の理解が浅かったという点も反省です。今回の研究を進めていく中で学び直す事柄がとても多く、これまでの自分の至らなさを実感しました。繰り返し指導内容を確認しながら教材研究に取り組みたいと思います。

今後は、生徒がより自主的に参加し、感性を発揮できるような授業作りをしていきたいと思います。

研究を終えて

本研究を通して、授業作りの難しさと奥深さを改めて実感しました。課題を提示し取り組ませていく中で、生徒との間に共通の基盤を築きながら探究心を引き出し導いていくこと。芸術教育の根幹と向き合いながら、自分の設定した狙い通りに軸を持って授業を展開すること。授業を作っていくにあたって基礎基本となる部分について、更に深めていく必要性を強く感じました。

また、芸術科として観点別評価をしていく上で、整理すべき事項がいくつかあることもわかりました。どういった評価の在り方が望ましいのか、今回の研究を糧に継続して考えていきたいと思えます。